

INDEX

法人化への道のりと学会運営を支える委員会活動.....	02
日本教育工学会 2021 年秋季全国大会のお知らせ (第三報).....	03
日本教育工学会 2022 年春季全国大会のお知らせ (第一報).....	06
研究会の開催「インストラクショナルデザイン／一般」.....	07
研究会の発表募集 テーマ:メディア・リテラシー／一般.....	09
研究会の開催報告 テーマ:STEAM 教育／一般.....	09
第2期 SIG 活動終了の報告	10
学会ホームページの更新情報について	11
一般社団法人日本教育工学会第 19 期第2回理事会報告	12
一般社団法人日本教育工学会第 19 期第3回理事会報告	13
新入会員 (2021年 02月 12日~ 2021年 04月15日).....	15
新入会員 (2021年 04月 16日~ 2021年 05月09日).....	16

法人化への道のりと学会運営を支える委員会活動

日本教育工学会 副会長 室田真男（東京工業大学）

2021年6月



一般社団法人日本教育工学会の堀田龍也新会長のもと、副会長が4人体制になりました。本号より252号までのニューズレターの巻頭挨拶は、新副会長からの挨拶をお届けいたします。各副会長は担当が決まっていますので、それぞれの担当分野における活動内容や方針、そして学会員の皆さんからは見えにくい委員等のがんばりの様子などをお届けする予定です。

副会長挨拶シリーズ1人目は、総務・広報担当の私がお届けします。私が担当する委員会は、総務委員会、広報委員会、顕彰委員会、選挙管理委員会です。

総務委員会の業務は、理事会の運営、代議員総会の運営、事務局の運営、法人の規定整備など多岐にわたります。会員数3,300名を超える本学会の財政基盤を安定させ、学会のミッションが達成されるよう各種事業をスムーズに展開できる基盤を構築し、運用していくことがミッションです。

昨年度の総務委員会は例年以上に忙しい年を送りました。学会の一般社団法人への移行を進めたためです。学会を法人化することは長年の懸案事項でしたが、移行のための労力の大きさと、法人化することによって得られるメリットを検討した結果、任意団体のまま留まっていたのが実情でした。しかし、会員数が増加し事業規模も大きくなってきたことを踏まえ、鈴木克明前会長が一般社団法人に移行させるという決断をされました。その任は、総務委員会が引き受けることとなりました。法人化に向けて、司法書士と最初に話し合いをしたのが、2019年07月です。その後の法人化に向けてのマイルストーンを示すと次のようになります。同年09月の秋季大会において会長から法人化を進める旨の方針説明。法人の定款を新規作成し、同年11月の理事会で承認。2020年02月発行のニューズレターに新法人への移行説明および定款を掲載しパブリックコメントを募集。2020年06月の総会にて一般社団法人への移行ならびに定款を承認。2020年12月に公証役場にて定款の認証手続き。2021年01月04日に法務局に設立登記申請。2021年春季大会中の03月07日に任意団体臨時総会にて解散・財産移行を承認。同日の新法人代議員総会にて新理事の承認。さらに同日の新法人理事会において堀田新会長を選定。2021年03月31日に任意団体の解散届を提出。そして、2021年04月01日より新法人が本格的に活動を開始しています。マイルストーンだけ見るとすんなりと進んだように見えますが、法人化に向けてのスケジュール策定から始まり、定款の整備、登記等に必要な書類の用意、銀行口座等の移行など膨大な量の作業がありました。それらをスケジュールどおりに進めることができたのは、益子典文総務委員会委員長を始めとする総務委員の皆様のご尽力のおかげです。

そして、法人化後も総務委員会は忙しく活動しております。これからやることも山積みです。法人化後の運営をスムーズに進めるための規程や体制の整備、学会の財政基盤安定化のための方策、デジタルインフラの整備等が喫緊の課題です。理事や会員の皆様のご意見を頂きながら進めてまいります。

広報委員会の主な活動内容は、ニューズレターの発行とWebページによる情報発信です。学会ホームページは2020年07月にリニューアルし、現代的なデザインのページとなりました。今後はWebを中心にタイムリーに情報を届けていく予定にしています。なお、学会ホームページの更新情報は、JSETのFacebookやTwitterで受け取ることができます。学会ホームページ右上の各アイコンから登録可能です。どうぞご利用下さい。

顕彰委員会および選挙管理委員会の活動も会員の皆様には見えにくいものですが、委員会メンバーのご尽力により、スケジュールどおりに着実に進められています。

総務・広報担当として、法人化への道のりをふり返り、学会運営を支える委員会活動を紹介させて頂きました。今後も、法人として活力があり、そして安定した運営がなされるよう、前向きに様々な改革をしていく所存です。引き続き、皆様の積極的な参画・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

2021 年秋季全国大会のお知らせ（第三報）

<https://www.jset.gr.jp/taikai39/>

日本教育工学会 2021 年秋季全国大会の一般研究発表をオンラインで実施することにいたしました。また、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の状況を踏まえ、それ以外のセッションもオンラインでの開催で調整しております。最新の情報は、大会ホームページに掲載いたしますのでご確認ください。

一般研究発表は、大会ホームページから申し込みが始まります（06月22日（火）開始予定）。多くの方々の研究発表・ご参加をお待ちしています。

1. 開催期日・会場

期日：2021年10月16日（土）～17日（日）

会場：オンライン・北九州国際会議場（〒802-0001 北九州市小倉北区浅野 3-9-30）

2. 大会日程

10月16日(土)		10月17日(日)	
09:00～09:20 オープニングセレモニー		09:00～10:10 一般研究発表3 (ポスター発表)	09:00～09:30 チュートリアル セッション2
09:30～10:40 一般研究発表1 (ポスター発表)	09:30～10:00 チュートリアル セッション1	09:30～10:00 チュートリアル セッション3	09:30～11:30 President Talk
10:50～12:00 一般研究発表2 (ポスター発表)		10:20～11:30 企画セッション	
12:00～13:00 ランチセッション		11:30～12:30 コラボレーション企画	
13:00～13:50 全体会		12:30～13:40 一般研究発表4 (ポスター発表)	
14:00～15:00 キーノート		13:50～16:20 シンポジウム2	
15:10～17:00 シンポジウム1		16:30～16:50 クロージングセレモニー	
17:30～ 懇親会			
08:30～17:00 受付		08:30～15:00 受付	
09:30～17:00 企業展示		09:30～13:40 企業展示	

3. 今大会での注目点・注意点

- ・一般発表はオンラインでの実施が確定しました。
- ・1日目（10月16日）の大会開始時に オープニングセレモニー、2日目（10月17日）の大会終了時にクロージングセレモニーを設けます。
- ・秋季全国大会の一般研究発表は、ポスター発表のみです。

4. 各セッションについて

(1) シンポジウム・キーノート

キーノートとシンポジウム1・2は下記テーマで実施予定です。

・キーノート・シンポジウム1

- 日時：2021年10月16日（土）14:00～15:00（キーノート）15:10～17:00（シンポジウム1）
- テーマ：未来への変革をもたらすコンピテンシーの育成と GIGA スクール構想
- 登壇者（敬称略）
基調講演者：溝上慎一（桐蔭学園理事長，桐蔭横浜大学学長・教授，トランジションセンター所長）
コーディネータ：高橋純（東京学芸大学）
指定討論者：堀田龍也（東北大学）
パネリスト：重田勝介（北海道大学）
塚田淳（福岡県教育庁教育振興部義務教育課）
長野健吉（京都教育大学附属桃山小学校）

・シンポジウム2

- 日時：2021年10月17日（日）13:50～16:20
- テーマ：これからの社会における教育データの利活用を考える
- 登壇者（敬称略）
コーディネータ：稲垣忠（東北学院大学）
指定討論者：村上正行（大阪大学）
パネリスト：喜連川優（国立情報学研究所）
松田岳士（東京都立大学）
小宮山利恵子（東京学芸大学）

(2) President Talk

今年度は、米国教育コミュニケーション・工学会（AECT）、中国教育技術協会（CAET）、韓国教育工学会（KSET）の代表に加え、JSET 堀田会長も登壇し、各国の教育工学に関する研究動向や教育課題について議論します。グローバルなレベルでの今後の研究のあり方について議論する機会となります。

登壇者

Xun Ge（AECT 会長，オクラホマ大学）

調整中（CAET）

Innwoo Park（KSET 会長，高麗大学校）

堀田龍也（JSET 会長，東北大学）

司会：蔣妍（JSET 戦略企画国際交流委員会委員（国際交流担当），早稲田大学）

使用言語：英語

(3) チュートリアルセッション

本学会にはじめて参加する方々に向けて、1日目にセッション1を行う予定です。本学会が対象とする学術分野や研究のテーマ、研究会や全国大会などの活動内容について、会長および大会企画委員がご説明いたします。

2日目のセッション2では、本学会論文誌「日本教育工学論文誌」への投稿および査読対応について、編集委員会を中心に事例をご紹介する予定です。続くセッション3では、査読者ならびに論文担当者の視点から、返戻判定を避けるための方法について考えていきます。いずれのセッションも、学生や教職員、教育工学についての研究を志す方々を広く対象とします。

(4) 一般研究（ポスター発表）

秋季全国大会の一般研究発表は、オンラインでのポスター発表のみです。オンラインでの発表方法については現在検討中です。詳細は決まり次第お知らせします。

5. 大会までのスケジュール

・発表者のスケジュール

一般研究発表申込・原稿（2頁）提出	06月22日（火）～07月13日（火）17時
参加費送金（早割価格）	06月22日（火）～07月20日（火）17時
プログラム決定・発表者に通知	08月10日（火）
2020年秋季全国大会講演論文集のダウンロード開始	10月08日（金）

6. 問い合わせ先

大会全般に関しては、以下にお問い合わせ下さい。

大会企画委員会（秋季全国大会）問合せ用電子メールアドレス a-taikai2021@jset.gr.jp

秋季大会企画委員会

委員長	森田裕介（早稲田大学）
副委員長	根本淳子（明治学院大学） 大久保昇（内田洋行）
幹事	坂本将暢（名古屋大学） 伏木田稚子（東京都立大学）
委員	板垣翔大（宮城教育大学） 金子大輔（北星学園大学） 倉田伸（長崎大学） 小林由昭（内田洋行） 近藤秀樹（神田外語大学） 中嶋康二（関西国際大学） 渡邊文枝（早稲田大学）
担当副会長	村上正行（大阪大学）

日本教育工学会 2022 年春季全国大会のお知らせ（第一報）

日本教育工学会 2021 年春季全国大会を下記のように、鳴門教育大学において開催します。多くの方々のご参加をお待ちしています。また、研究発表にもふるってご応募下さい。

1. 開催期日・会場

期日：2022 年 03 月 19 日（土）～03 月 20 日（日）（2 日間の開催となります）

会場：鳴門教育大学 〒772-8502 徳島県鳴門市鳴門町高島字中島 748 番地

<https://www.naruto-u.ac.jp/>

2. 会場へのアクセス

- ・徳島阿波おどり空港から徳島バス「小鳴門橋」行きまたは「鳴門公園」行きに乗車（約 20 分）、鳴門駅から徳島バス「鳴門教育大学」行きに乗車（約 15 分）、「鳴門教育大学前」下車
- ・東京・大阪・神戸から、高速バスで「高速鳴門」下車、徒歩約 5 分の小鳴門橋から、徳島バス「鳴門教育大学」行きに乗車（約 10 分）、「鳴門教育大学前」下車

<https://www.naruto-u.ac.jp/access.html>

3. 大会までのスケジュール

- ・発表・参加申込受付開始：11 月上旬頃
- ・発表原稿締め切り：11 月下旬頃
- ・発表者参加申込受付期限：12 月中旬頃
- ・発表者以外の参加申込受付期限：2021 年 01 月上旬頃

春季全国大会の日程の詳細及び、企画内容等は第二報にてお知らせします。

春季大会企画委員会

委員長	森田裕介（早稲田大学）
副委員長	松河秀哉（東北大学） 泰山裕（鳴門教育大学）
幹事	椿本弥生（東京大学） 川面きよ（帝京大学）
委員	遠海友紀（東北学院大学） 大山牧子（大阪大学） 小林由昭（内田洋行） 今野貴之（明星大学） 竹中喜一（愛媛大学） 辻宏子（明治学院大学） 長濱澄（東京工業大学）
担当副会長	村上正行（大阪大学）

春季大会実行委員会

実行委員長	藤村裕一（鳴門教育大学）
実行副委員長	泰山裕（鳴門教育大学）
実行委員	川上綾子（鳴門教育大学） 藤原伸彦（鳴門教育大学） 林向達（徳島文理大学）

研究会の開催



テーマ インストラクショナルデザイン／一般

●日 時：2021年07月03日（土）

●会 場：オンライン開催

※徳島大学での現地開催は中止とします。

●担 当：study-group-core@jset.gr.jp

プログラム

発表時間：発表1件につき24分（発表19分，質疑5分）

オンライン開催の方法については、学会HPに掲載しています。

参加申し込みは06月27日17:00までに学会HPにて行って下さい。

10:00～10:05 諸連絡

10:05～12:10 午前の部

- A1) 学びのユニバーサルデザインーオリジナル（本来的）な学びとしての高等学校通信教育ー
二宮徳次郎（京都府立朱雀高等学校）
 - A2) 生涯学習を支援する「AIスキルチャット」の研究開発
長田邦男（静岡大学大学院），永田正樹（静岡大学）
 - A3) 地域事情に根差したデータサイエンティスト教育基盤構築
塩崎雅基（静岡大学大学院），永田正樹（静岡大学）
 - A4) 次への意欲づけを目指しルーブリックを活用した小学校外国語科の単元設計
横坂真優（沼田市立利根中学校），松崎邦守（至学館大学）
-

- B1) タッチ操作デジタル紙芝居システムの開発と子どもを対象としたワークショップの実施
牛田啓太（工学院大学），村田真隆（デジタルアーツ株式会社），安部芳絵，陳キュウ（工学院大学）
 - B2) 1人1台端末環境の学級がGoogle Classroomを半年間使用した際の使用用途の傾向の分析
小泉遥香，若月陸央（信州大学），三井一希（常葉大学），浅井公太（静岡市立南部小学校），
佐藤和紀（信州大学）
 - B3) 小学校高学年児童が実感している1人1台情報端末を活用する効果に関する分析
久川慶貴（春日井市立藤山台小学校），佐藤和紀（信州大学），高橋 純（東京学芸大学），
堀田龍也（東北大学大学院）
 - B4) 教職員に求められるICT活用教育の支援に関する研究
炭村紀子，藤村裕一（鳴門教育大学大学院）
 - B5) 児童生徒一人1台端末環境に対応した教員養成課程におけるICT活用指導力の検討
山本朋弘，野上俊一，石田靖弘（中村学園大学），小柳和喜雄（関西大学），
廣瀬真琴（鹿児島大学大学院）
-

13:05～13:10 委員会挨拶・諸連絡

13:10～15:15 午後の部①

- A5) 大学院生の院生生活における躰きと乗り越え
森玲奈（帝京大学），村上正行（大阪大学）
 - A6) 大学入学後の学習経験が大学生の学習観に与える影響
加藤奈穂子（早稲田大学大学院），尾澤重知（早稲田大学）
 - A7) SDGsゲーミフィケーション教材のアプリケーション開発と操作性向上に関する研究
鈴木健斗（金沢工業大学大学院）
 - A8) Using Analytical Hierarchy Process in the Action Research
-

Tomomi Kubota, Masami Yoshida (Chiba University)

A9) 大学のSD担当者養成研修における研修転移の効果と課題

竹中喜一, 中井俊樹 (愛媛大学)

B6) 教育の場を構築する科学館職員の動機と方略

石川奈保子 (早稲田大学), 牧野遼作 (広島工業大学・早稲田大学), 城綾実 (立命館大学・早稲田大学), 宗政由桐 (早稲田大学)

B7) 演習型オンライン授業における教師の授業力量に関する研究

後藤壮史 (関西大学/奈良県王寺町立王寺小学校), 小柳和喜雄 (関西大学)

B8) 1人1台端末の活用が児童生徒の学習に対する保護者の意識に与える影響の検討

萩原ほのみ (信州大学), 手塚和佳奈 (信州大学大学院), 三井一希 (常葉大学), 佐藤和紀 (信州大学)

B9) 幼児期の直接的な体験を補完・促進・充実させるICT活用教育の在り方

廣瀬三枝子, 藤村裕一 (鳴門教育大学大学院)

B10) IoT技術習得を目的とした初学者向け実験実習コンテンツの構築

小林美緒 (阿南工業高等専門学校)

15:25~17:30 午後の部②

A10) 就職活動時の自己分析・企業分析とキャリアに対する態度が就職先への満足度に与える影響の調査

高橋 B.徹 (実践女子大学)

A11) 遠隔教育における学習者の集中度と教師-学習者間の同調との関係性

青山隼人, 三宅美博, 野澤孝之 (東京工業大学)

A12) 1人1台端末の活用が児童生徒の端末利用に対する意識に与える影響の検討

堀内蓮太郎 (信州大学), 手塚和佳奈 (信州大学大学院), 三井一希 (常葉大学), 佐藤和紀 (信州大学)

A13) 中国の小中高の情報教育に関するカリキュラム体系の歴史と現状

胡啓慧, 野中陽一 (横浜国立大学)

A14) 新逆向き設計に基づく中学校数学課題学習のテーマ検討

永原健太郎 (東京工業大学附属科学技術高等学校), 松田稔樹 (東京工業大学)

●発表時間：当研究会は会員・非会員による討論の場を作ることを目的として開催してきました。討論時間を確保するために、持ち時間 24 分において質疑応答の時間を 5 分以上は確保していただいております。よろしくご理解願います。

●事前参加登録：オンライン実施のため、**06月27日17:00**までの事前参加登録を必須とします。学会HPを参照下さい。

●参加費用：参加にあたっては以下のいずれかの参加費のお支払いをお願いします。

1000円/1回(会員・非会員共通), 2000円/年間4回「研究会参加年間パス」制度

*発表者にはこれに加えて発表料も必要です。詳しくは下の「研究会の運営について」をご覧ください。

研究会の運営について

●研究会の「参加費」「発表料」について：研究会報告集の冊子体の廃止およびJ-STAGEでのオープンアクセス化に伴い、研究報告集代や年間購読制度は廃止し「参加費」「発表料」を以下のように設定することになりました。(2021.02.03告知)

(ア)参加費(aかbのいずれかが必要)

(a)1000円/1回(会員・非会員共通), (b)2000円/年間4回「研究会参加年間パス」制度(会員のみ)

※年間パスについて：当該年度内の4回の研究会のすべてに参加可能になります。ただし年度当初に年会費などとともに会員専用ページなどで支払いをしていただく必要があります(今年は05/14まで)。

(イ)発表料(参加費に加えて、口頭発表者は以下の料金をお支払いいただきます)

(a)1000円/1回(会員), (b)2000円/1回(非会員)

詳しくは研究会Webページにてご確認ください。

研究会の発表募集 テーマ：メディア・リテラシー／一般

●日 時：2021年10月30日（土）

●会 場：オンライン開催（担当：鶴田利郎）

●申込締切：2021年08月30日（月）17:00

●原稿提出：2021年09月30日（木）17:00

●募集内容：

現代社会におけるメディア環境は複雑化しており「メディア・リテラシー」とその育成を目的とする「メディア教育」に関する研究は、これまで以上に重要性を増しています。

学習指導要領では、情報活用能力が学習の基盤となる資質・能力として位置づけられました。この力の育成のためにはICTの活用に加え、テレビや新聞などのマスメディア、さらにはソーシャルメディアの活用について考えていくことが必要です。またソーシャルメディアの普及によって既存のメディアのあり様が大きく変化してきている昨今の社会状況を踏まえると、時代の変化に対応したメディア・リテラシーとその教育のあり方について検討することも重要と考えられます。

このような状況を背景に、本研究会ではメディア・リテラシー教育に関する研究報告を募集します。また従来どおり、教育工学一般に関する発表も募集します。

●締切日時は“平日17:00”です。ご注意ください。

●原稿執筆：

原稿は研究会 Web ページに記載されている原稿見本に従って、執筆をお願いします。

●原稿提出：

原稿の提出は PDF 形式で、研究会 Web ページの「研究会マイページ」より、発表申込時に発行された「受付キー」を使用してご登録ください。なお、期限までにご提出いただけない場合は、自動的に発表取消となりますのでご注意ください。

新型コロナウイルス感染症に関する研究会の対応について

新型コロナウイルス感染症に関する本学会の対応について（2020年04月02日公表）

<https://www.jset.gr.jp/news/news-2035/> に従い、

- ・感染拡大状況に応じて、研究会の現地開催を中止する場合があります。中止の場合は、随時本学会ホームページに掲載いたします。
 - ・現地開催が中止の場合でも、オンラインで代替開催可能なものはオンラインで開催することがあります。
 - ・イベント前に、必ず本学会ホームページをご確認下さい。
-

研究会の開催報告 テーマ：STEAM 教育／一般

●日 時：2021年05月22日

●発表件数：34件

2021年05月22日開催の本研究会は、「STEAM 教育」をメインテーマに、一般発表と合わせて、34件の発表がありました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の点からオンラインでの開催となりましたが、190名近くの方から参加申込みがありました。また、その中で非会員の方からも30名近くの参加申込みがありました。8つのセッションで、発表内容についての活発な議論や様々な視点からの情報交換があり、大変有意義な会となりました。

本研究会にご参加をいただきました皆様、また、開催にあたりご支援・ご協力をいただきました皆様に、この場をお借りして深く御礼を申し上げます。ありがとうございました。引き続き日本教育工学会研究会をどうぞよろしく願いいたします。

※オンラインでの開催だったため、研究会の様子の写真がありません。ご了承ください。

担当：長谷川春生（富山大学）

第2期 SIG 活動終了の報告

SIG (Special Interest Group) の第2期活動が2021年03月末日をもって終了いたしました。第2期に活動を行ったSIGは次のとおりです。

- SIG-01 高等教育・FD
- SIG-02 教師教育・実践研究
- SIG-03 教育・学習支援システムの開発・実践
- SIG-04 教育の情報化
- SIG-05 ゲーム学習・オープンエデュケーション
- SIG-06 協調学習・学習科学
- SIG-07 インストラクショナルデザイン
- SIG-08 メディア・リテラシー, メディア教育
- SIG-10 コンピテンシースタンダードと能力評価手法の開発
- SIG-11 情報教育
- SIG-12 人工知能の教育利用
- SIG-13 STEM 教育
- SIG-14 小学校プログラミング教育

第2期活動報告は、会員専用ページのSIG参加申請ページに掲載しております。

学会ホームページの更新情報について

広報委員会

研究会の受付開始や論文募集など、学会ホームページの更新情報は、JSET の Facebook や Twitter で受け取ることができます。学会ホームページ右上の各アイコンから、ご登録ください。

会員の皆様には、学会ホームページの積極的な御活用をお願い申し上げます。

The screenshot shows the JSET website homepage. At the top, there is a navigation bar with the JSET logo and social media icons for Facebook and Twitter. Below the navigation bar, there is a section titled "JSET NEWS" with a list of recent updates:

- 2021/04/22 研究会21-2(7月開催)の発表申込受付を開始
- 2021/03/10 研究会21-1(5月開催)の発表申込受付を開始
- 2021/03/09 研究会(5月開催)について
- 2021/03/03 ニュースレター JSET-247を発刊しました(2/26/2021版を一部修正しました)
- 2021/02/18 日本教育工学会論文誌 特集号 論文募集「特集:初等中等教育のデジタルトランスフォーメーション」

Below the news section, there is a large banner with the headline "日本教育工学会は法人化でさらにステップアップします" (JSET is stepping up further with incorporation). The banner text reads: "「教育工学」は、人文社会系と理工系、ならびに人間に関する学問分野を融合した学際的な学問です。教育工学の研究対象は、時代にあわせて変化してきました。教育・学習の多様化やオンライン化の波が変化を加速させています。"

※学会ホームページは、2020年07月にリニューアルしました

日本教育工学会広報委員会 Web 更新情報

Facebook : @jset.kouhou.update (06月06日22時現在47人)

Twitter : @JSETkoho_update (06月06日22時現在90人)

文責 登本洋子 (東京学芸大学)

一般社団法人日本教育工学会第19期第2回理事会報告

日時：令和03年04月26日（月）～30日（金）

場所：電子メールによる

出席：理事 堀田龍也 会長，美馬のゆり 副会長，村上正行 副会長，室田真男 副会長，
山内祐平 副会長，赤倉貴子，岩崎千晶，大久保昇，緒方広明，小柳和喜雄，北澤武，
向後千春，重田勝介，瀬戸崎典夫，高橋純，永田智子，西森年寿，根本淳子，
姫野完治，益子典文，益川弘如，松河秀哉，望月俊男，森田裕介，
森本康彦
監事 鈴木克明，吉崎静夫
総務委員会 池尻良平，伏木田稚子

（合計29名）

1. 前回の理事会等議事録の承認について

第18期第22回理事・評議員会（合同）議事録，第18期臨時理事会（03/05）議事録，臨時総会議事録，第19期第1回理事会記録について原案が提示され，承認した。

2. 新入会員の承認について

会員の移動状況について報告があり，承認した。2021年04月30日現在の総会員数は3,285名となった。

3. 各種委員会から

1. 戦略・国際

企画戦略WGの設置およびWG構成員が提案され，承認した。

企画戦略国際委員会の委員が提案され，承認した。

2. 大会企画委員会

委員の交代が提案され，承認した。

秋季全国大会について，キーノート・シンポジウム1および大会のハイブリッド化に関する報告があった。

3. 広報委員会

今期の委員構成が提案され，承認した。

4. 編集委員会

学会誌の発行状況と今後のスケジュールに関する報告があった。

5. SIG委員会

2020年度活動報告書および第2期最終報告書が提示された。

6. 広報委員会

ニューズレター248号～252号の発行スケジュールに関する報告があった。

7. 総務委員会

以下について，確認がなされた。

- 日本学術振興会育志賞候補者推薦依頼
（独立行政法人日本学術振興会 より）
- New Education Expo2020 ONLINE 実施報告
（New Education Expo 実行委員会 より）
- 教育の情報化推進フォーラム実施報告
（一般社団法人 日本教育情報化振興会 より）
- 視聴覚教育総合全国大会実施報告
（全国放送教育研究会連盟事務局 より）

4. その他

1. 郵送物について，確認した。
2. 今後の理事会日程を確認した。

一般社団法人日本教育工学会第19期第3回理事会報告

日時：令和03年05月15日（土）14:40～16:40

場所：遠隔会議システム（Zoom）

出席：理事 堀田龍也 会長，美馬のゆり 副会長，村上正行 副会長，室田真男 副会長，
山内祐平 副会長，赤倉貴子，岩崎千晶，大久保昇，緒方広明，小柳和喜雄，北澤武，
重田勝介，瀬戸崎典夫，高橋純，永田智子，西森年寿，根本淳子，姫野完治，
益子典文，益川弘如，松河秀哉，望月俊男，森本康彦
監事 鈴木克明，吉崎 静夫
総務委員会 池尻良平，伏木田稚子

（合計27名）

議題1 前回の理事会記録の承認について

一般社団法人日本教育工学会第19期第2回理事会記録が提案され，承認した。

議題2 新入会員の承認について

会員の移動状況が報告され，承認した。2021年05月15日現在の総会員数は3,302名となった。

各種委員会から

議題3（編集）

・編集委員会

論文誌編集進捗状況ならびに特集号45巻3号，45巻Suppl.の編集委員と論文誌発行スケジュールが報告された。特集号46巻4号のテーマ「COVID-19以降の高等教育改善：テクノロジーの役割再考をふまえて」が報告された。投稿規定の改正案が提案され，承認した。ITELの編集進捗状況が報告された。

議題4（戦略・国際）

・企画戦略国際委員会

企画戦略国際委員（幹事）の選任が提案され，承認した。

・重点活動領域委員会

重点活動領域委員の選任が提案され，承認した。

・企画戦略WG

重点活動領域の活動の目標・方法・内容の案が報告された。

議題5（会員サービス）

・研究会委員会

研究会のオンライン開催，研究会の新しい運営状況，昨年の参加実績，年間参加パスの申し込み状況が報告された。

・大会企画委員会

秋季全国大会の一般発表の実施方法，ハイブリッド開催時の託児所の設置，会場での懇親会の見送りについて提案され，一般発表は全てオンラインで実施すること，それに合わせて託児所は設置しないこと，会場での懇親会は見送ることについて，承認した。2022年度秋季全国大会の会場と日程の案が提案され，承認した。

議題6（広報・顕彰・総務）

・広報委員会

ニューズレター249号の目次案と編集スケジュールが提案され，承認した。

・顕彰委員会

2021年度～2022年度顕彰委員と第35回論文賞選考に係る顕彰委員会選考委員の選任が提案され，承認した。第36回研究奨励賞と第35回論文賞の選考状況が報告された。研究奨励賞選考内規の改正が提案され，承認した。

第9回教育関連学会連絡協議会総会記録が報告された。日本学術振興会育志賞候補者推薦依頼が報告された。一般社団法人の委員会規程案と総務委員会規程案および各委員会規程の作成スケジュールが提案され、承認した。

任意団体の収支決算と、解散手続きの進捗について報告された。東京都の最低賃金に合わせ、今後学生のアルバイト代については時給を1,000円から1,030円に上げることが報告された。今後、学会のデジタル基盤を整備すること、それに向けた組織化を予定していることが報告された。

その他

1. 協賛依頼について、承認した。
2. 郵送物について、確認した。
3. 今後の理事会日程を確認した。

新入会員 (2021年02月12日～2021年04月15日)

入会申込者 77名 (正会員：47名, 准会員：4名, 学生会員：25名, 維持会員：1機関)

正会員 (47名)

齋藤正憲(白鷗大学)
秋山綱紀(金沢工業大学)
兒玉純子(株式会社 T・Y)
濱田美晴(高知学園短期大学)
小野麻由子
(日本赤十字秋田看護大学)
岩澤ありあ((株)アストロスケール)
葛城元(京都教育大学附属高等学校)
高橋真吾(早稲田大学)
荻野禎之(早稲田大学)
山本裕樹(焼津市立和田小学校)
藤田伸一(川崎市立菅生中学校)
徐シュンテイ(関西大学大学院)
田野崎真司(岩手大学)
清水大地(東京大学)
佐々木徹雄(神戸医療福祉大学)
藤井幹夫
豊吉泰典(日本医療科学大学)
武内三穂(株式会社 TS トーキョー)
本村康哲(関西大学)
高橋幸太郎(京都府立園部高等学校)
小澤郁美(富山大学)
山下直人((株)メディアオーパスプラス)
竹森崇人((株)メディアオーパスプラス)
金子智栄子(文京学院大学)
松下侑輝(鹿児島大学)
永原健太郎(東京工業大学)
久保田祐歌(関西福祉科学大学)
水野正朗(東海学園大学)
坂知樹(金沢工業大学)
明石達生(東京都氏大学)
土田智(清泉女学院短期大学)
美那川雄一(静岡県立小山高等学校)
飯村結香子(NTT ソフトウェア)

イノベーションセンター)

出口英二
(福岡県立輝翔館中等教育学校)
後藤和彦(多摩市立永山中学校)
上浦環(梅花女子大学)
糸井麻希子(京都光華女子大学)
尹智鉉(中央大学)
後藤心平(広島経済大学)
森寺勝之(中国学園大学)
松山桃世(東京大学生産技術研究所)
楠元洋子(東京工科大学)
大井京(九州大学)
村瀬浩二(和歌山大学)
市野治美(宝塚大学)
篠原隼(広島大学病院)
相崎香帆里(富士通株式会社)

准会員 (4名)

秋山涼(高知大学)
勝野啓(兵庫県立兵庫高等学校)
中垣州代(畿央大学)
宮原史(国土交通省国土技術政策
総合研究所)

学生会員 (25名)

用田歩(熊本大学)
Ye Zhiqing
(東京大学大学院学際情報学府)
当麻由惟(東京学芸大学大学院)
ストレスレ梓(熊本大学大学院)
福田茉央(東京大学)
Yin Pengcheng
(北陸先端科学技術大学院大学)
福原侑真(早稲田大学)
尾原健太(広島大学大学院)
長山琢磨(熊本大学)
鈴木健斗(金沢工業大学大学院)
島田高行(金沢工業大学大学院)
辻村堅治(兵庫教育大学大学院)
久保寺将太(東京学芸大学大学院)
佐々木翼(岐阜大学)
新井登(上越教育大学教職大学院)
内田佳途(常葉大学)
土手絢心(長崎大学大学院)
蔭山竜介(立命館大学)
加藤真二(北陸先端科学技術大学院大学)
長吉美弥子(日本文理大学大学院)
實川裕斗(東京理科大学大学院)
加莉将太郎(立命館大学)
三枝澄絵(熊本大学)
今滝暢子(日本大学大学院)
増田悠紀子(東京大学大学院)

維持会員 (1機関)

河合塾

新入会員（2021年04月16日～2021年05月09日）

入会申込者 30名（正会員：14名，准会員：4名，学生会員：12名）

正会員（14名）

小関啓子(大阪電気通信大学)
馬場政尚(神奈川県教育委員会)
芹川佳子(早稲田大学)
茶谷美香(射水市立射北中学校)
後藤和彦
(東京都立産業技術高等専門学校)
二階堂薫
杉田郁代(高知大学)
庭野匠
(株式会社やる気スイッチグループ)
長谷川文子(拓殖大学)
谷川依津江(甲南大学)
坂本牧葉(岐阜市立女子短期大学)
香川由美子(梅花女子大学)
杉野佑(八王子市立式分方小学校)
岡本紗知(大阪大学)

准会員（4名）

幡生翔太(公立ほこだて未来大学)
坂野智絵
(田原福祉グローバル専門学校)
井越昌紀(SD-STEAM 教育研究会)
立野喜紀(東吾妻町立東小学校)

学生会員（12名）

遠藤秀聖(早稲田大学)
李縁舟(横浜国立大学)
石田好一(東京大学大学院)
高橋賢治
(北海道教育大学札幌校教職大学院)
クハルクアレクセイ(熊本大学)
萩原ほのみ(信州大学)
小泉遥香(信州大学)
中尾尊洋(兵庫教育大学大学院連合学校)
岡田芳樹(慶應義塾大学大学院)
中野綾香(東京大学大学院教育学研究科)
木下隼太郎(早稲田大学)
尾花和哉(兵庫教育大学大学院)

◎学会日誌

2021年07月～2022年03月

- ・ 2021年07月03日(土) 研究会「インストラクショナルデザイン／一般」(オンライン開催)
- ・ 2021年10月16日(土)～17日(日) <全国大会>
2021年秋季全国大会(北九州国際会議場／オンライン)
- ・ 2021年10月30日(土) 研究会「メディア・リテラシー／一般」(オンライン開催)
- ・ 2021年12月04日(土) 研究会「高等教育の質保証／一般」(京都産業大学)
- ・ 2022年03月19日(土)～20日(日) <全国大会>
2022年春季全国大会(鳴門教育大学)

◎国際会議の案内

2021年08月

- ・ ICBL/ISET 2021
<http://www.aimtech.cityu.edu.hk/icbl2021/index.html>
<http://www.aimtech.cityu.edu.hk/iset2021/index.html>
(2021, 8/10 - 13, Online)
- ・ ICoME 2021
<http://jaems.jp/icomeme/>
(2021, 8/18 - 20, Online)

お問い合わせ先

学会についてのお問い合わせは、
下記のWebフォームから
お願いいたします。

<https://www.jset.gr.jp/contact/>

広報委員会

担当副会長 : 室田 真男(東京工業大学)

広報委員長 : 高橋 純(東京学芸大学)

広報副委員長 : 光原 弘幸(徳島大学)

幹事 : 深見 俊崇(島根大学)

幹事 : 脇本 健弘(横浜国立大学)

委員 : 佐藤 和紀(信州大学)

島田 希(大阪市立大学)

中村 恵(畿央大学)

登本 洋子(東京学芸大学)

E-mail : kouhou@jset.gr.jp

発行所●

一般社団法人日本教育工学会事務局

〒107-0052

東京都港区赤坂1-9-13

三会堂ビル8階

TEL 03-5549-2263

FAX 03-5575-5366

E-mail : office@jset.gr.jp

<https://www.jset.gr.jp>

郵便振替00160-4-452130

日本教育工学会ニューズレター

No. 249

2021年6月24日

発行人●会長 堀田 龍也(東北大学)